

今週（8月4日から8月8日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズが強く、出合いの水準は0.475～0.478%が中心となった。加重平均レートは、4日(月)は0.476%となったが、その後は0.477%で推移し、8日(金)も概ね同水準の出合いが中心となった。

ターム物は、1W～3W程度で0.48～0.55%前後、3M程度で0.60%前後での出合いが見られた。

日銀当座預金残高は、週初520兆円台でスタートし、6日(水)は10年国債の発行により518兆円程度まで減少したものの、7日(木)には国債買入オペにより519兆円程度に増加し、8日(金)も同水準での着地が見込まれる。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね0.48～0.505%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンで堅調に推移した。

7日(木)に実施された6M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、特段の出合いは見られず閑散なマーケットとなった。8日(金)に実施された3M物入札はテールが流れる結果となったものの、結果発表後のセカンダリーでは、底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、鉄鋼、電気機器、卸売業などの業態から大型の発行案件が見られた。

市場残高は、週を通して25兆円台半ばから後半で推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/4 (月)	40,290.70	1.505	147.62	0.476	0.493	5,200,600
8/5 (火)	40,549.54	1.470	146.94	0.477	0.492	5,204,400
8/6 (水)	40,794.86	1.495	147.58	0.477	0.489	5,179,800
8/7 (木)	41,059.15	1.486	147.57	0.477	0.484	5,191,400
8/8 (金)	41,820.48	1.485	147.16	0.477	0.491	5,186,500

来週（8月11日から8月15日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/11 (月)	山の日				
8/12 (火)	7月のマネースtock(日銀 8:50)				7月の米消費者物価指数 7月の米財政収支
8/13 (水)	7月の企業物価指数(日銀 8:50)		5Y 8/14発行 24,000億円		
8/14 (木)				国有林借入 8/25借入 949億円	7月の米生産者物価指数 4-6月期のユーロ圏GDP2次速報 4-6月期の英GDP速報値
8/15 (金)	4-6月期のGDP1次速報(内閣府8:50)	TDB3M 8/18発行 43,000億円	10Y物連 8/18発行 2,500億円		7月の米小売売上高 7月の米鉱工業生産・設備稼働率 6月の米企業在庫 8月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/11 (月)									
8/12 (火) 日銀予想	▲ 200	▲ 7,900	▲ 8,100	国債補完供給	500		500	▲ 7,600	TB3M発行▲43,000償還45,000 TB6M発行▲35,000償還35,000
8/13 (水) 弊社予想	500	▲ 8,000	▲ 7,500				0	▲ 7,500	
8/14 (木) 弊社予想	▲ 500	▲ 22,000	▲ 22,500				0	▲ 22,500	源泉所得税揚げ 5Y発行▲24,000 交付税借入▲10,500期日12,500
8/15 (金) 弊社予想	▲ 500	76,000	75,500				0	75,500	年金定時払い 個人向け発行▲5,000(見込) 償還1,000
週間合計	▲ 700	38,100	37,400	—	500	0	500	37,900	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、引き続き横ばい圏での推移が予想される。短国市場は、15日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、夏季休業に入る事業会社もあり、閑散なマーケットとなることが見込まれる。

主要なイベントは、国内では、13日(水)に7月の企業物価指数、15日(水)に4-6月期のGDP1次速報、海外では、12日(火)に7月の米消費者物価指数、14日(木)に7月の米生産者物価指数、4-6月期のユーロ圏GDP2次速報、15日(金)に7月の米小売売上高などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入